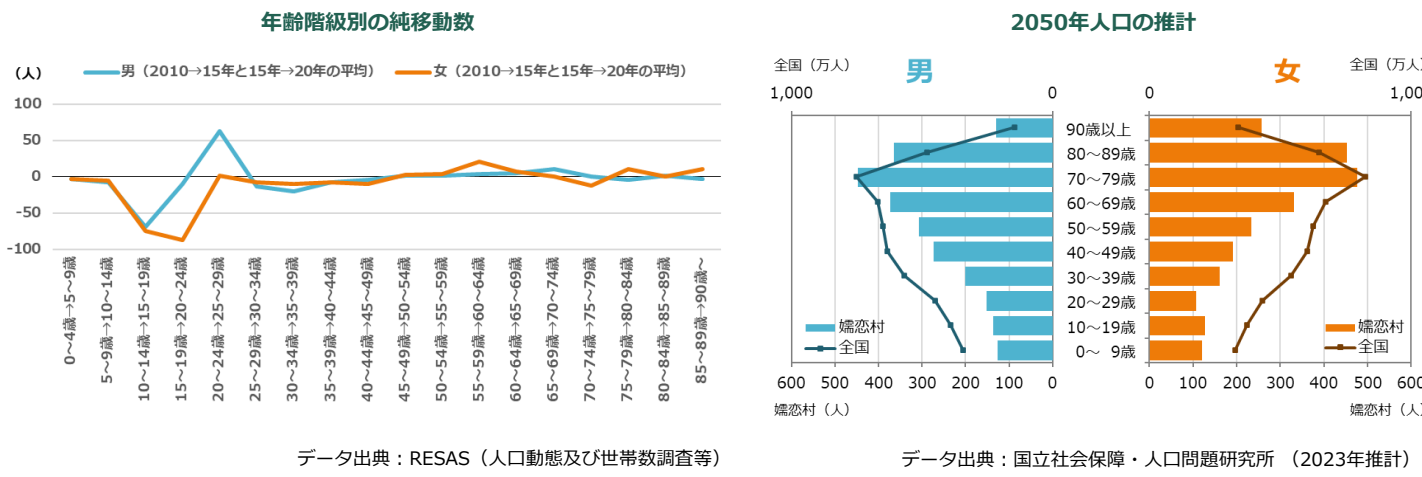


つまごい観光ビジョン2024-2025（概要版）

婦恋村のデータ

婦恋村の人口流出

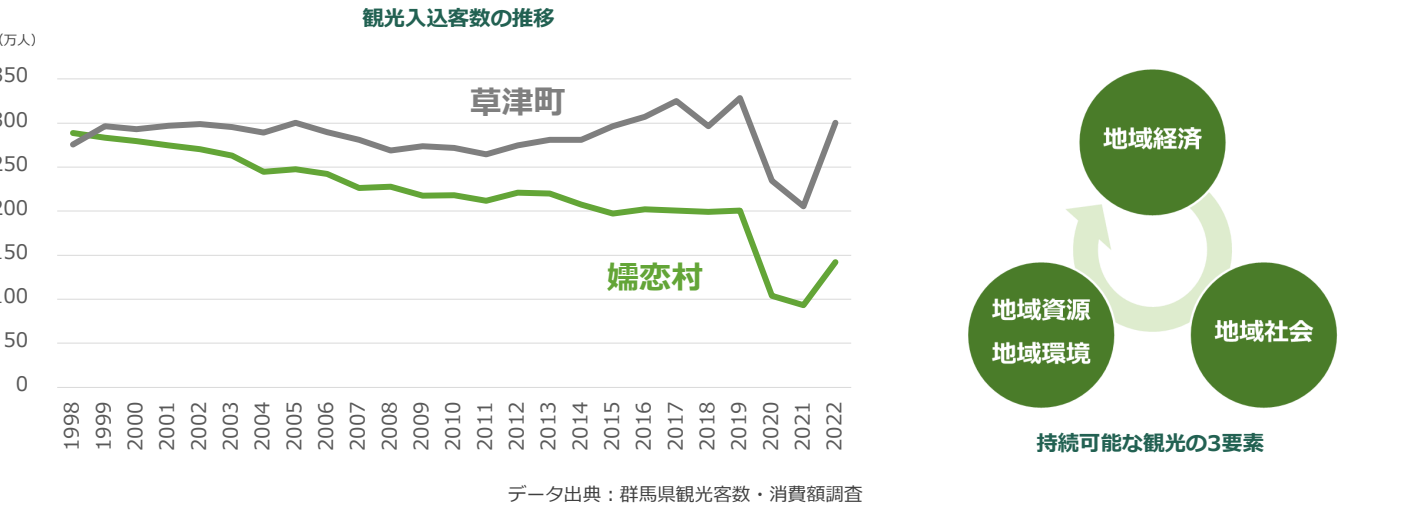
全国的に人口減少社会となり、各地域の存続が危ぶまれています。婦恋村は周辺自治体と比較しても人口減少率が大きくなっています。高校や大学に進学、就職をする20歳前後の若い女性の流出が顕著です。2050年の人口推計では女性を中心に生産年齢人口が大きく減少すると推計されています。



持続可能な観光地域づくり

持続可能な地域づくりに向けて、住民・訪れる人に選ばれる地域となる必要があります。地域の個性をいかに守り、育てていくかの活動を、地域として取り組んでいかなければなりません。その際、「地方創生の切り札」とされる観光の活用は欠かせません。

婦恋村の観光入込客数はスキープームの1990年頃をピークに減少傾向にあります。観光は、これまでは産業として、経済面が注目されてきました。しかし、人口減少等の社会変化を受けて地域社会が弱りつつあるなかで、持続可能な観光地域づくりには、経済面、環境面、社会・文化面を一体的に取り組むことが重要と言われます。



課題の抽出（SWOT分析）

強み

有名観光地である草津と軽井沢に隣接
首都圏からの車での好アクセス
家族向けの環境
多種多様な温泉
豊かな自然観光資源と個性的な自然風景
夏の涼しく過ごしやすい気候と別荘地需要
高品質な高原野菜
キャベツの一大生産地としての知名度
恋の字が使われた村の名前

弱み

ショッピング場所や街歩きの場所の不足
村内や周辺への二次交通アクセスの不足
安全な歩道や自転車道の不足
太陽光パネルや電柱等に対する修景不足
施設や建物の老朽化や遊休化
観光需要の8月への集中
名物料理や伝統料理の不在
低い労働生産性と不足する観光人材
観光統計データと観光地意識の不足

機会

高付加価値観光や着地型観光の需要拡大
旅行のアフターコロナ需要
外国人観光客の増加
上信自動車道の開通
SNSやIoTやDX等のIT技術の普及
国のDMO推進と支援
ふるさと納税制度

脅威

スキー需要やゴルフ需要の減少
人口減少による人材不足の加速
若者や高齢者を中心とした車離れ
JR吾妻線の廃線リスク
原油高等の原材料費等高騰リスク
地域間競争の激化
自然災害や感染症流行リスク

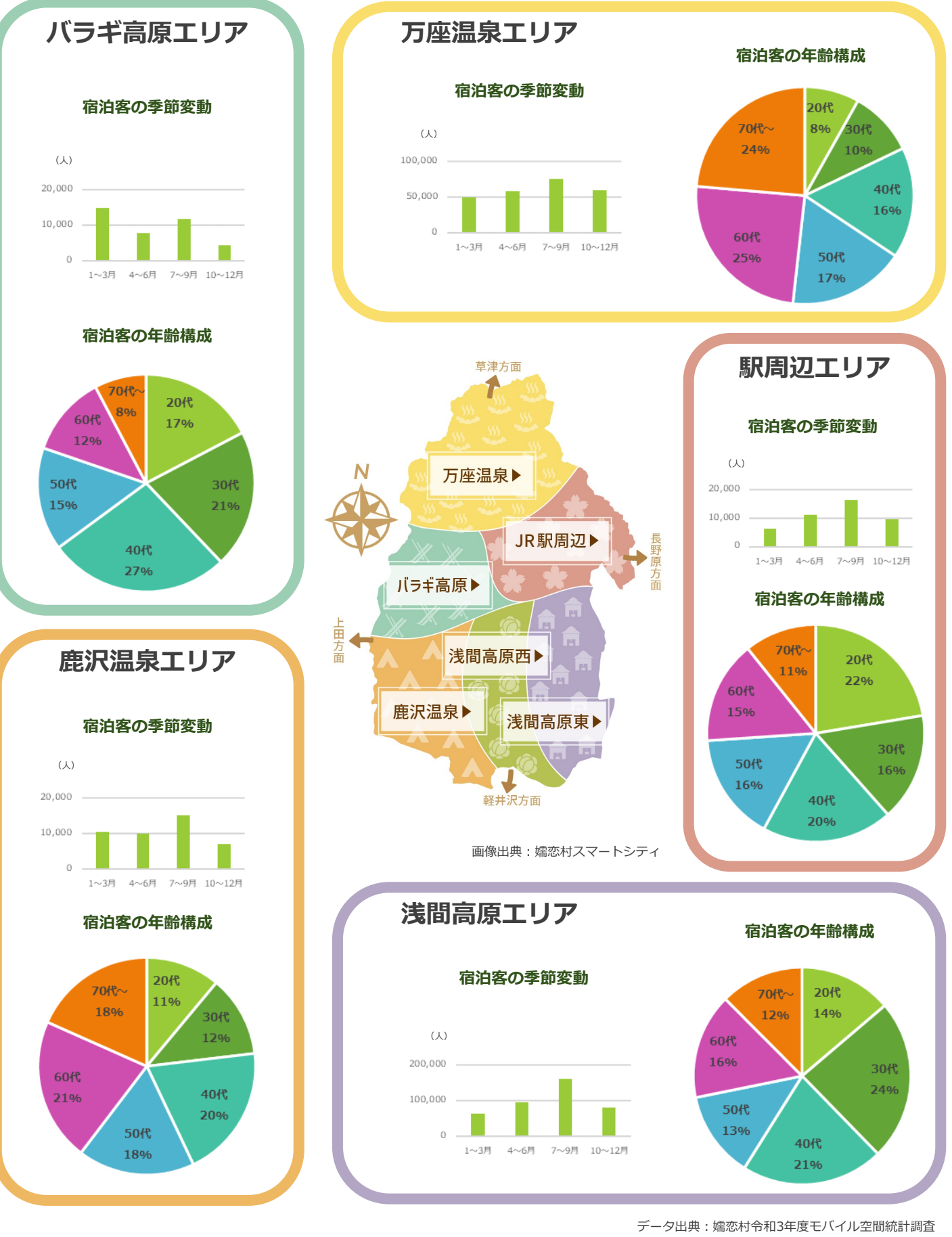
既存観光資源の磨き上げ
高付加価値観光の資源発掘と磨き上げ
周辺自治体との連携
インバウンドへの対応
ニューツーリズムへの対応
ワーケーション旅行や移住の促進
域内循環の促進

サイクリングロードや歩道の整備
景観形成の指針整備と修景の推進
観光客数の平準化に向けた冬季資源発掘
名物料理の開発
IT技術活用による労働生産性の向上
統計データの整備とデータに基づく戦略策定
DMO形成等の観光地域づくり体制の整備

婦恋村の観光地としてのブランド形成
観光情勢の変化に対応可能な財源の確保

二次交通と周遊手段の確保
人口流出の軽減とUターン促進

エリアごとのデータ（2019年）



観光振興のコンセプト・基本方針

観光によるまちづくり

婦恋村が婦恋村として残るための

基本方針の概況図

資源づくり・経済づくり・体制づくりの3つの方向から、持続可能な観光地域づくりを目指します。

1. 婦恋村ブランドづくり

婦恋村の個性を活かした資源の発掘・磨き上げを行い、婦恋村ブランドを名実の両面で醸成します。

- 「婦恋らしい風景づくり」
- 「アウトドア資源づくり」
- 「キャベツの文化づくり」
- 「妻との時間をつくる旅の推進」
- 「婦恋の星空づくり」
- 「冬の婦恋づくり」
- 「温泉資源の磨き上げ」
- 「ペットとの時間をつくる旅の推進」
- 「フィルムコミッション運営」

主な評価指標		
指標名	調査方法	2023年度
につぼんの温泉100選順位	民間調査	万座温泉29位
別荘地の公示地価	国土交通省	3,710（円/㎡）
フィルムコミッション誘致数	実績	未調査

2. 誘客と受入体制づくり

誘客と受入体制を整え、観光客の満足度・滞在日数・消費額の向上を目指し、強い観光業の経済を育てます。

- 「多様性に配慮した受入体制づくり」
- 「都市部との交流」
- 「周辺自治体との広域観光連携」
- 「吾妻線利用の活性化」
- 「情報発信体制づくり」
- 「データに基づいたプロモーション」

主な評価指標		
指標名	調査方法	2023年度
年間宿泊者数	RESAS	768,614人
主要宿泊施設RevPAR	村内調査	未調査
観光客の紹介意向（NPS）	村内アンケート	未調査

3. 持続可能な体制づくり

効率的かつ効果的な観光地域づくりができる体制と仕組みを整えます。

- 「観光データの整備」
- 「観光まちづくりの推進」
- 「観光地域づくり体制の整備」
- 「観光財源の確保」

主な評価指標		
指標名	調査方法	2023年度
婦恋村公式LINEリーチ数	実績	3,428（2023年末）
ふるさと納税額（観光指定）	実績	5,711万円（2022年度）